

2016 年度事業計画書

【期間】 2016 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日

1. 事業方針

◆中期ビジョン（2015年4月～2018年3月）

CoCoTは、地域に住む人々が、自分たちのまちのことを自分たちで決めることができ、誰もがそれぞれに居場所のある地域社会の実現を目指しています。

複雑に変化し高齢社会となった現代で、お金のある人だけが良いサービスを受けることのできる社会は、決して生きやすい幸せな社会ではありません。

地域で生活し関わり合う人々がそれぞれの発意と役割分担により、共に試行錯誤を重ね、課題解決への道筋をつけ、多様な事情を抱える人々と、共に生きる社会を創り上げていこうとする動きが始まっています。これからは、自分たちなりの答えを見つけるためのプロセスを描きプランニングする役割（コミュニティコーディネーター）の存在が重要です。

CoCoTは、これからの職業として、コミュニティコーディネーターの可能性を広げていきたいと考えています。

◆中期目標（2015年4月～2018年3月）

1. 2015年より3年間かけて、実践的かつ明確な対価志向性を持った事業型NPOとして、再構築します。
2. コミュニティコーディネーターとNPO経営のプロフェッショナル集団で構成される組織づくりを目指します。

1-1. 2016 年度基本方針

私たちは、持続可能なマーケティング領域を持ちつつ、現状社会の課題にしっかりと沿った社会変革にインパクトのある課題解決型のプロジェクトの立ち上げる準備を始めています。支払い能力のないマーケティングから除外された人々の存在を明確にして、持続可能な社会の新たなマーケティング領域として開発していくことで、自らのビジネスモデルをも生み出していこうと考えています。

これは、支払い能力のない人々をお金が回る仕組みから除外するのではなく、彼らの存在により地域経済が回る仕組みを作ろうという大胆な発想から出発しています。

実際には、「あんしん電話地域見守り協議会」の事務局として、地域の地縁組織や市民活動団体とともに活動していく関係を大切にしながら、地域住民による地域社会のセーフティネットづくりを、社会的にインパクトのある経済活動に育て上げていきます。働き手となる世代の人が高齢化に疲弊することのない持続可能な社会の形成を目指します。

また、松戸市との訴訟に関して、司法による公平かつ客観的な判断が明記された東京高等裁判所による判決文を、市が松戸市民に公表したことは、訴訟結果に対して誠実な対応と受け止めています。CoCoTからの平成27年5月13日付け通知書に対しては、平成27年6月5日付で回答があり、その後、千葉地方裁判所松戸支部による訴訟費用額確定処分の決定に基づき、平成28年3月30日付で訴訟費用の支払いがありました。今回の民事訴訟に関して収束したものと捉え、今後は、市との信頼関係を再度築きなおし松戸市民に貢献できる具体的な実践を進めていきたいと考えています。

以上の状況を踏まえ、今年度は中期ビジョン実現のための具体的な方針を立てました。

1. あんしん電話協議会とともに、地域見守りとコミュニティ作りの活動に取り組みます。
2. あんしん電話の関わるプロジェクトを起こします。
3. まちばカレッジ事業の採算性を見直します。
4. コミュニティ・シンクタンク部門を機能させます。

1-2 事業系

○コミュニティ・コーディネーター部門(地域活性化センター松戸)

- (1)【地域連携】「松戸あんしん電話地域見守り協議会」事務局
- (2)【地域連携】自動応答電話(通称:あんしん電話)による安否確認事業
- (3)【人材育成】まちの学び舎「まちばカレッジ」運営(助成:YS市庭コミュニティ財団)
- (4)【地域連携】松戸東口周辺活性化「ヒカッテルネ!松戸マルシェ」事務局
- (5)【NPO支援】まるごとスマイルファンド(休止)

○コミュニティ・シンクタンク部門

(1)調査研究事業

- 【地域連携】高齢化社会に対応した地域の見守り体制づくりの研究

委託者:公益財団法人ニッセイ聖隷健康福祉財団

- 【地域連携】独居高齢者の孤立化の予防に向けたボランティアの継続要因の調査

委託者:公益財団法人 太陽生命厚生財団

(2)NPO支援センターコンサルティング

- 【NPO支援】流山市民活動推進センター運営サポート

- 【NPO支援】千葉県東葛地域支援センター運営サポート

(3)講師派遣

- 【人材育成】コミュニティコーディネーター育成講座 創業支援講座

(4)設立十年事業プロジェクト

- ・実績の整理と出版
- ・記念事業の開催

1-3 管理系

(1) 広報

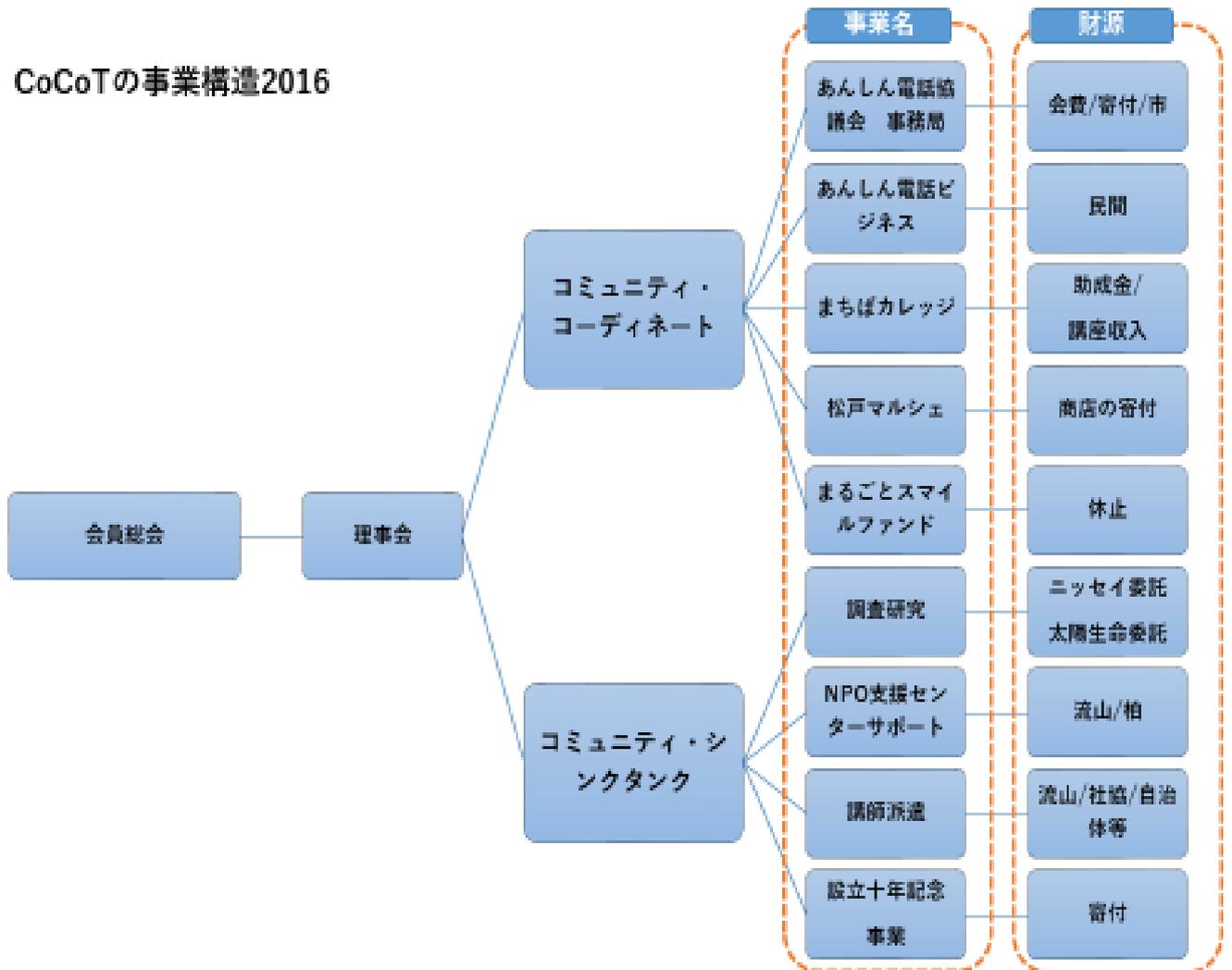
ビジネスツールを整備し、対価表示のできる体制を作ります。

対価表示されたパンフレットの作成をします。

10年記念事業として、「CoCoT10年の歩み」を整理して書籍として出版します。

(2) 組織運営(組織体制・事業構造)

CoCoTの事業構造2016



(3) 経営

NPO法人CoCoTの経営は、事務局が担います。定期的に経営会議を開きます。事務局は、事業プロジェクト会議に出席します。

- ①財務
- ②経理
- ③人事

2016年度 活動計算計画書

2016年4月1日から2017年3月31日まで

特定非営利活動法人コミュニティ・コーディネーターズ・タンク
代表理事 小山 淳子

科目	金額(単位:円)	
I 経常収益		
1. 受取会費		340,000
正会員受取入会金	50,000	
正会員受取会費	120,000	
準会員受取入会金	10,000	
準会員受取会費	60,000	
賛助会員受取会費	100,000	
2. 受取寄附金		530,000
受取寄附金	530,000	
3. 受取助成金等		1,950,000
受取民間助成金	1,950,000	
4. 事業収益		8,800,000
人材育成事業収益	100,000	
地域連携事業収益	8,300,000	
NPO支援事業収益	400,000	
5. その他収益		-
受取利息	-	
雑収益	-	
経常収益計		11,620,000
II 経常費用		
1. 事業費		9,840,000
人材育成事業費		
人件費	910,000	
その他経費	560,000	
地域連携事業費		
人件費	5,130,000	
その他経費	2,370,000	
NPO支援事業収益		
人件費	100,000	
その他経費	100,000	
事業部門共通事業費		
人件費	120,000	
その他経費	550,000	
人件費計	6,260,000	
その他経費計	3,580,000	
2. 管理費		1,334,000
(1) 人件費		
役員報酬	-	
給料手当	-	
法定福利費	-	
福利厚生費	-	
人件費計	-	
(2) その他経費		
旅費交通費	15,000	
通信費	150,000	
租税公課	50,000	
消耗品費・印刷製本費	30,000	
地代家賃・管理費・水道光熱費	912,000	
会議費・賃借料	20,000	
保険料・諸会費・支払手数料	172,000	
その他経費計	1,334,000	
経常費用計		11,174,000
当期経常増減額		446,000

Ⅲ 経常外収益			
1. 固定資産売却益	-	-	
保経常外収益計			-
Ⅳ 経常外費用			
1. 雑損失	-	-	
経常外費用計			-
税引前当期正味財産増減額			446,000
法人税、住民税及び事業税			70,000
当期正味財産増減額			376,000
前期繰越正味財産額			269,558
次期繰越正味財産額			645,558